

都教組北多摩東支部
 電話 (042) 384・2941
 FAX (042) 384・7904
 kita-higasi@mvc.
 biglobe.ne.jp

2012
 第6号



新規採用の加入続く(支部)
 新学期18名加入
 全都では100名超す

退職金400万円削減に政府が着手

5月29日、「国家公務員の退職金を400万円削減するため具体的な作業をすすめる労働組合との交渉に臨む」との総務大臣報告を政府は、閣議で了承しました。

これは、消費税増税の国民負担を押し付けるために、公務員の「身を切る改革」を国民に示す手段です。退職手当は、義務教育国庫負担金の対象で、教職員にも直接影響します。

さらに、民間の退職金のさらなる削減にも波及します。全国から「退職手当削減反対」の職場決議に職場の多くの方の署名を添えて政府に送ります。交渉力を高める組合加入を。

スイミーの登場も現実から出発した教育を

スイミーって？

あるから。」



「水族館にいる小さなお魚の話。」

「私は夜の海のお話だと思う。」

「アジじゃない？」

「いや、サバだろう。」

おしゃべりのように出てくる子どもたちの考えに、見ている大人

も微笑んでしまうような時間でした。ここで、ふと感じました。「こ

んな時間、久しぶりだなあ…」

魅力ある教材を、じっくり読むと「国語が好き！」

すてきな作品を、たくさんじっくり読んで、本を読むこと・文学を味わうことを好きになっ

ていくのが国語の学習。

でも、先週行った授業は、遊園地の挿絵から女の子を探す「話す・聞く」や観察記録の名人になるための「書く」授業。

「話す・聞く」も「書く」も、大切な事ですが、それだけをピツクアップし、そんなにたくさん時間をかけなければできないことでしょうか。

子どもに身につけさせたい力を一つ一つ輪切りにして、「今の子にはこの力が足りないから」と時間を配分する。分かりやすくなっているのは、子どもではなく大人のように思います。

よい作品に時間をかけて出会い、言葉を一つ一つ学び、意見を交流し、さらに読み深めた思いを書いてみる。こうした流れの中で、子どもたちは力をつけていくと思

うし、自分たちもつけてきたと思います。

学校公開前に行われた保護者との面談では、こんな声もありました。

「先生、うちの子、漢字が覚えられません。二年生になって、いきなり『読』、この間は『曜』ひらがなもまだ上手に書けないのに・・・。」

二年生が学習する漢字は一六〇文字。一年生の倍です。画数も多く複雑な字も出てきます。でも、一文字一文字にある成り立ちのストーリーやつくりの秘密を知りながら覚えていく漢字学習は、記憶や反復の学習ではなく、「なるほど」がたくさんつまった学びです。

漢字の授業の前に、あわてて白川静さんの本を読み直すことも、私にとってのちよつとした学びです。

子どもにとっても教師にとっても、魅力のある教材を、魅力的な方法で学習できる授業をつくる。それが教師の仕事だと思います。そのためには、選ぶ目と勉強する時間が必要だと感じています。

(粕江 和泉 航)